



2010年「4月8日タイヤの日」タイヤ点検結果

(社)日本自動車タイヤ協会(会長 三野哲治)は、4月4日~8日にかけて全国7カ所で実施致しましたタイヤ点検等の結果をまとめましたのでここに発表いたします。

本点検は2010年「4月8日タイヤの日」啓発活動の一環として、全国自動車タイヤ販売協議会連合会、全国タイヤ商工協同組合連合会と共にユーザーの皆様にタイヤの日常点検・整備の重要性を幅広く訴求することを目的に実施したものです。

1. タイヤ点検結果の概要

今回タイヤの点検を行った車両は、乗用車系が308台、貨物系が38台の合計346台となり、これらの車両の整備状況は次の通りです。

1) タイヤ整備の車種別状況(表-1)

タイヤの整備不良車両は、点検台数346台中132台(不良率は38.2%)。整備を要する車両は、約4割弱と高い割合を示しております。

表-1 タイヤ整備状況

車種	点検車両台数	タイヤ整備不良台数	不良率
乗用車系	308台	117台	38.0%
貨物系	38台	15台	39.5%
合計	346台	132台	38.2%

2) タイヤ整備不良の項目別内訳(表-2)

乗用車系・貨物系の合計で見ると「空気圧不足」が1位(22.0%)となっております。空気圧が不足したままでは、自動車燃費に悪影響を及ぼすばかりではなく、安全走行にも影響いたします。このため、空気圧不足であった車両には、その場で空気を補充し、ドライバーに対しては、日常点検(空気圧管理)の励行をお願いしました。

また、少ない割合(1.7%)ではありますが、タイヤの残り溝が不足した(摩耗限度を超えた)状態が確認されました。

表-2 タイヤ整備不良の項目別内訳

項目	乗用車系		貨物系		合計	
	件数	不良率	件数	不良率	件数	不良率
タイヤ溝不足	3	1.0	3	7.9	6	1.7
偏摩耗	2	0.6	0	0.0	2	0.6
外傷	1	0.3	0	0.0	1	0.3
釘・異物踏み	2	0.6	0	0.0	2	0.6
空気圧不足	71	23.1	5	13.2	76	22.0
空気圧過多	40	13.0	9	23.7	49	14.2
その他	7	2.3	0	0.0	7	2.0
計	126	—	17	—	143	—

3) (社)日本自動車タイヤ協会、全国自動車タイヤ販売協議会連合会、全国タイヤ商工協同組合連合会の3団体では、このタイヤ点検結果を踏まえ、正しい空気圧管理が安全走行やエコドライブの基本であることなどを尚一層啓発していくことと致します。



羽生PAでの点検状況



長者原SAでの点検状況

2. タイヤ点検等の概要

1) 実施場所

実施日	時間	実施場所
4月 4日 (日)	10:00~11:30	名神高速道路 吹田SA 上り線
4月 6日 (火)	10:00~12:00	伊勢湾岸自動車道 刈谷ハイウェイオアシス
4月 8日 (木)	10:00~14:00	道央自動車道 輪厚PA 下り線
4月 8日 (木)	10:00~12:00	東北自動車道 長者原SA 下り線
4月 8日 (木)	10:00~12:00	東北自動車道 羽生PA 上り線
4月 8日 (木)	10:00~12:00	山陽自動車道 宮島SA 下り線
4月 8日 (木)	14:00~16:00	九州自動車道 宮原SA 下り線

2) 点検項目と基準

点検項目	点検基準		
	タイヤの種類	保安基準	高速走行時
タイヤ溝	乗用車用	1. 6mm	1. 6mm
	小形トラック用	1. 6mm	2. 4mm
偏摩耗	両肩摩耗、片落ち摩耗等		
外傷	釘・異物踏み、カット（コードに達するもの）等		
空気圧不足	指定空気圧 未満		
空気圧過多	指定空気圧 + 50kPa 超 を基本とする (一部の貨物車は、この限りでない)		
その他	クラック、バルブコア不良等		

タ イ ャ 点 檢 結 果

タイヤ点検日時 平成22年4月4~8日

タイヤ点検場所 全国7ヶ所

社団法人日本自動車タイヤ協会

注) 1. 1台の車両で複数のタイヤ整備不良(項目)がある場合がある為、タイヤ整備不良車両台数とタイヤ整備不良件数の内訳(件数)は必ずしも一致しない。

2. 不良率：「タイヤ整備不良車両台数又は不良項目件数」／「点検車両台数」×100

3. 空気圧は、ホット状態で計測。

※「その他」は、クラック 6 件、パンク修理からのエア一漏れ 1 件。